

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 141-8640  
 住 所 東京都品川区東五反田2-18-1  
 氏 名 メビウスパッケージング株式会社  
 代表取締役社長 大岩三千雄  
 代理人 川崎工場長 澤村 隆文  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	メビウスパッケージング株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区浮島町11-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)
主たる事業 の内容	プラスチック容器製造販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	11,008	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度～平成30年度(報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にシ印を記載してください。

3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	24,211 t-CO <sub>2</sub> 23,804	24,213 t-CO <sub>2</sub> 23,806	23,593 t-CO <sub>2</sub> 23,194	22,356 t-CO <sub>2</sub> 21,976	23,979 t-CO <sub>2</sub>
削減率		0.0 % 0.0	2.6 % 2.6	7.7 % 7.7	1.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	単位				
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出原単位等の値					
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高効率ターボ冷凍機更新（平成28年度）</li> <li>○低圧空気圧縮インバータ機へ更新（平成28年度）</li> </ul> これらの設備は平成28年度に設置工事開始したが、平成29年度より稼働開始したため、電力使用量削減に寄与できず、温室効果ガスの排出量が昨年と変わらない結果となった。
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高効率ターボ冷凍機更新（平成28年度）</li> <li>○低圧空気圧縮インバータ機へ更新（平成28年度）</li> </ul> これらの更新設備が平成29年度より稼働を開始し、電力使用量削減に寄与したため、排出量は基準年度に比べて2.6%低減した。
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高効率ターボ冷凍機更新（平成28年度）</li> <li>○低圧空気圧縮インバータ機へ更新（平成28年度）</li> <li>○第1機械室冷水ポンプ（75kw×2台→55kw×2台）更新（平成29年度）</li> </ul> これらの更新設備が平成30年度の電力使用量削減に寄与したため、排出量は基準年度に比べて7.7%低減し、計画期間の目標を達成した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

東洋製缶グループでは、環境ビジョンの実現に向けて、新たに2050年に向けた長期目標と2022年を最終目標年度とした具体的な中期目標「エコアクションプラン2022」を策定し、活動しています。 基準年度：2013年 長期目標：CO <sub>2</sub> 排出量を2050年度までに半減を目指します。 中間目標：2022年度までにCO <sub>2</sub> 排出量を1.4%削減
---

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該 当者等)	計 画	○高効率ターボ冷凍機更新 (平成28年度) ○低圧空気圧縮インバータ機へ更新 (平成28年度)
	第1年度	これらの設備は平成29年度より稼働開始
	第2年度	これらの更新設備は平成29年度より稼働を開始した。
	第3年度	これらの更新設備は平成29年度より稼働を開始した。
自動車等 (第3号該 当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	無し
第1年度	無し
第2年度	無し
第3年度	無し

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーン購入推進</li> <li>○廃棄物の分別と減量化を図る</li> <li>○コピー用紙の購入抑制（裏印刷再利用推進）</li> <li>○製品輸送の直行化（デポを使用せず、自工場から直接得意先へ）</li> </ul>
第1年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事務用品に対してグリーン購入推進を行った</li> <li>○工場からの廃棄物の分別と再資源化を行った</li> <li>○コピー用紙の購入抑制として裏印刷再利用推進を行った</li> <li>○製品においてデポを使用せず、自工場から直接得意先への輸送を行った</li> </ul>
第2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事務用品に対してグリーン購入推進を行った</li> <li>○工場の廃棄物総排出量が目標比95.2%6.85ton削減達成</li> <li>○コピー用紙購入量が目標比98.6%7,500枚削減達成</li> <li>○製品においてデポを使用せず、自工場から直接得意先への輸送を行った</li> </ul>
第3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事務用品に対してグリーン購入推進を行った</li> <li>○工場の廃棄物総排出量が目標比96.8%2.45ton削減達成</li> <li>○コピー用紙購入量が目標比91.6%44,000枚削減達成</li> <li>○製品においてデポを使用せず、自工場から直接得意先への輸送を行った</li> </ul>

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	21,089	t-CO <sub>2</sub>
(調)	20,540	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算Iエネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
メビウスパッケージング株式会社	神奈川県川崎市川崎区浮島町1-1	1892	プラスチック容器製造販売	21,089 t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算Iエネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算Iエネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500kl 未満	
300~400kl 未満	
200~300kl 未満	
100~200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はIエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>
		0	0	t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はIエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--